

生活道路の新しいかたち

区内初
(中央二丁目)

「コミュニティ道路」完成

商店街モール化も完了 (藤棚・久保町地区)

このたび、中央二丁目「コミュニティ道路」が建設され、生活道路の新しいかたちが区内に初めてお目見えしました。また、藤棚・久保町地区では商店街がモール化されました。折しも八月は「道路をまもる月間」。そこで今回はこの二つの道路についてご紹介します。

「コミュニティ道路」って何だろう

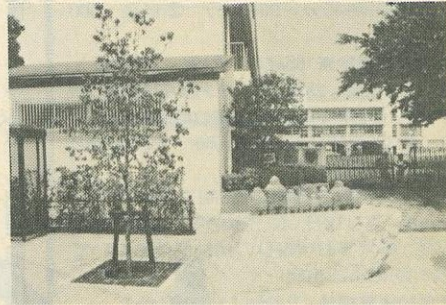
道路は私たちにとって一番身近な都市施設です。特に日常生活に密着した生活道路には、通勤や通学といった通行を担うだけでなく、近所の人との立ち話や散歩を楽しむといったふれあいや憩いの場、生活の一部という役割もあります。しかし、現在はこうした道路にも自動車の通過が増え、また違法な駐車により、いつも安全に気を使わなければならない

ています。こうした中で、生活道路を、安全で快適な環境を備えた日常生活の場にふさわ

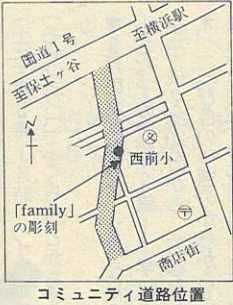
しい道、そこから地域のふれあいがはぐくまれるような場にしていくとして誕生したのが「コミュニティ道路」です。

ゆとりとふれあい あふれる道

このたびその第一号が中央二丁目に完成しました。西前小学校校門前を通り、藤棚商店街と国道1



横浜西ロータリークラブから寄付されたハナミズキの木(左)と彫刻「family」(右)



コミュニティ道路位置



電線の地中化ですっきりとした雰囲気になった商店街
(藤棚・久保町地区)

号を結ぶ約三五〇メートルの道路がそれです。歩道は広くなりカーブロックで舗装されデザインされた照明灯が設置されました。植栽のスペースも設けられました(植栽は季節の関係で秋ごろになります)。一方、車道部分は、車のスピードを抑えるように蛇行しています。また、西前小学校校門前には、横浜西ロータリークラブから

寄付された彫刻とハナミズキの木が置かれました。彫刻は、中岡慎太郎氏作の「family」(ファミリー)で、石でできた八人家族。ぜひ見に来てください。